



昨年11月26日の断水から代替給食で約1ヵ月間のいでしたが、3学期になって温かい給食が再開された。

当たり前には供給されていた『水』に不純物が混じり、その対応に追われた給食センター職員の苦勞が、再開された給食に滲む。

そんな苦勞を子どもたちはしっかり感じながら、また少しやさしくなったのだろう。

くしくもこの断水は16年前に廃校し、校舎から子どもたちの笑い声と歓声が消えた月形町立昭栄小学校解体中の水道事故だった。

けれど噴き出した『水』は、ここに学校があったことを忘れないでと、廃校を悲しんだ子どもたちの涙だったのかもしれない…。

第4回定例会

3人の議員から一般質問

令和3年

議会開催状況

付託案件・議決結果



解決！^{ふかぼり}深掘 第5弾

「追跡調査！一般質問のその後」

令和3年

第4回 定例会

令和3年第4回村議会定例会が、12月14日から22日までの9日間の会期をもって招集されました。

初日は、令和3年度補正予算や条例の改正など8件を審議した結果、全て原案のとおり可決し、1件の専決処分を承認しました。

会期中は、付託された案件を審議するため行政常任委員会を開催し、最終日に報告を受け、それぞれ決定しました。

また、追加の補正予算及び意見書案、委員会発委3件を審議し、原案のとおり可決しました。

また、3人の議員から一般質問を行いました。

定例会の主な内容

専決処分

〔令和3年度補正予算〕

◎一般会計(第9号)

- ・歳出補正の主な内容
- ・子育て世帯への臨時特別給付金

1800万円

〈今回の補正額〉

1905万円

〈補正後の予算総額〉

35億9468万円

条例改正

- ◎新篠津村手数料徴収条例の一部を改正する条例について

デジタル社会の形成を図るための関係法律の整備に関する法律の施行に伴い、個人番号カード等の法定受託事務を変更するために、本条例の一部を改正するものです。

- ◎新篠津村国民健康保険条例の一部を改正する条例について

産科医療補償制度の掛金見直しにより、健康保険法施行令等の一部改正に伴い出産育児一時金の総支給額を維持するために、本条例の一部を改正するものです。

補正予算

〔令和3年度補正予算〕

◎一般会計(第10号)

- ・歳出補正の主な内容
- ・生活交通路線維持運行費補助金
- ・介護保険特別会計操出金
- ・障害者介護・訓練等給付費
- ・重度(心身障がい者)医療費
- ・指定管理温泉施設維持管理負担金

439万円

409万円

728万円

130万円

80万円

1629万円

36億1097万円

◎国民健康保険特別会計

- ・歳出補正の主な内容
- ・高額医療給付費

1000万円

- ・健診、検査業務委託料

100万円

〈今回の補正額〉

1100万円

〈補正後の予算総額〉

7億3712万円

◎介護保険特別会計

- ・歳出補正の主な内容
- ・施設介護サービス給付費負担金
- ・社会福祉協議会負担金

3040万円

302万円

302万円

〈今回の補正額〉

3543万円

〈補正後の予算総額〉

4億3646万円

◎後期高齢者医療特別会計

- ・歳出補正の主な内容
- ・保険料等負担金
- ・保険料還付金

150万円

10万円

160万円

〈今回の補正額〉

160万円

〈補正後の予算総額〉

6060万円

◎一般会計(第11号)

- ・歳出補正の主な内容
- ・子育て世帯への臨時特別給付金
- ・たつぷの湯防犯カメラ設置、非常灯LED化工事
- ・指定管理施設営繕費負担金
- ・賄材料費

347万円

100万円

198万円

〈今回の補正額〉

2923万円

〈補正後の予算総額〉

36億4020万円



平成9年に開業し、24年経過した「たつぷの湯」

人事

◎人権擁護委員候補者の推薦について

令和4年3月31日で任期満了となる木村良磨氏の後任に戸賀澤大輔氏を候補者として推薦することの諮問に対し、「適任」と答申しました。

なお、任期は令和4年4月1日から令和7年3月31日までの3年間です。



戸賀澤 大輔 氏

●人権擁護委員とは

人権擁護委員は、法務大臣の委嘱を受け、村民の人権を守るための活動をしている民間のボランティアです。

人格・識見ともに高く、広く社会の実情に通じ人権擁護について理解があり、なおかつ守秘義務を遂行で

きる人物を新篠津村長が推薦しています。委嘱は法務大臣が行いますが、新篠津村議会にも人権擁護委員として適任の人物かどうか、意見を聞かれています。

新篠津村では、現在、木村良磨氏と清田里美氏の2人が活動しています。

請願・陳情書

請願書1件と陳情書1件について、行政常任委員会に付託の上、審議した結果、請願書は採択、陳情書は趣旨採択となりました。

なお、採択された請願書については、地方自治法第99条の規定に基づき、政府関係機関等へ意見書を提出しています。

意見書

◎地球温暖化、海水温上昇に伴う水産漁業被害の解明と支援策を求める意見書

行政常任委員会の提案による意見書案を可決し、政

府関係機関へ意見書を、北海道選出国会議員には陳情書を提出しています。

件名	提出者	結果
令和4年度の米政策に関する請願書	新篠津村農業協同組合 代表理事組合長 早川 仁史 他4団体 紹介議員 新篠津村議会議員 大塚 裕樹 新篠津村議会議員 南部 隆志	採 択
教職員の超勤・多忙化解消、義務教育費国庫負担制度堅持・負担率2分の1への復元、「子どもの貧困」解消など教育予算確保・拡充と就学保障に向けた陳情書	連合北海道石狩地域協議会 当別地区新篠津支部連合会 会 長 黒田 孝則	趣旨採択

第4回臨時会 (11月24日)

人事

◎教育委員会教育長の任命
11月30日で任期満了となる教育委員会教育長に荒谷順一郎氏を引き続き任命することと同意しました。
任期は2024年11月30日までの3年間で、荒谷氏は3期目となります。



荒谷 順一郎 氏

補正予算

◎令和3年度一般会計補正予算(第8号)

歳出補正の主な内容

・ 防災倉庫屋根補修工事 304万円

・ 福祉灯油助成給付金 44万円

・ 新型コロナウイルスワク

チン接種対策費

△616万円

〈今回の補正額〉

△139万円

〈補正後の予算総額〉

35億7563万円

議会日誌

〔11月〕

- 15日 全国過疎地域連盟第52回定期総会 (東京都)
- 23日 新穀感謝祭
- 24日 第4回村議会臨時会
- 26日 町村議会議長全国大会 (東京都)

〔12月〕

- 7日 議会運営委員会
- 14日 第4回村議会定例会 (初日)
- 22日 第4回村議会定例会 (最終日)

〔1月〕

- 6日 議員協議会
- 7日 議会広報特別委員会
- 7日 交通安全祈願祭
- 13日 新篠津消防出初式
- 13日 新篠津村商工会新年交礼会
- 20日 議会広報特別委員会

一般質問

村政のここが聞きたい

～3人の議員から6項目を問う～



1 南部 隆志 議員

- ①住宅購入等に対する支援制度について
- ②公共施設や災害避難所の設備について

2 林 和彦 議員

- ①デジタル田園都市国家構想について

3 大塚 裕樹 議員

- ①みどりの食料システム戦略に向けて
- ②担い手育成「最大1,000万円」の支援について
- ③クリニック建替えに向けた村民への対話について

令和3年第4回村議会定例会が12月14日から22日の9日間の日程で開催され、議会最終日に3人の議員が一般質問し、石塚村長に答弁を求めました。
(紙面の都合上、要約し掲載しています。)

○南部議員 質問
近隣市町村の住宅補助の現状を調べると、月形町では町内事業所、営業所の建設会社が建設すれば150万円、町外業者で50万円、指定された団地に建設した場合+50万円、その他に合併浄化槽設置にも助成して

Q

人口対策の観点から
住宅購入等に対する支援を

A

支援の仕方などを
必要に応じ考えていく

一般質問

南部 隆志 議員

○石塚村長 答弁
今近隣市町では、新たな移住により定住される方を対象とした住宅新築等の支援制度を設け、地元建築業者の振興等も図りながら、減少する人口対策の取組みの一つとして取り組まれている自治体も数多くある。
本村としては、人口対策の観点から、まずは本村への移住・定住の促進を図るため、残り十六区画ある「み

いる。南幌町も住宅支援、合併浄化槽に助成している。当別町もごく最近、新築住宅購入費の補助を行うよううで、合併浄化槽設置費は、排水設備費を除く工事費に対して40%以内の補助をしている。
江別市、長沼町も農村部を中心とした地域に合併浄化槽設置費を補助している。また、その他にも5年間、住宅ローン利子助成をしているところもある。
そこで、我が村も人口対策の観点から住宅購入等に対しての支援を検討いただけないか。

のり団地」の販売に向けてのPRを推し進め、この団地での新築住宅建築に対する支援を引き続き進めていきたいと考えている。

そのうえで、今後、本村における人口対策として、分譲団地以外での住宅購入支援が有効な手段であるのかを検討し、必要に応じて支援の仕方なども考えていきたい。

Q 避難所となる施設の現状と整備方針は

A 各会館に防災資機材の導入を随時行っていく

○南部議員 質問
12月1日の朝8時30分過ぎに瞬間最大風速21メートルを超える暴風雨が吹き、道道の防雪柵が倒れる被害があった。



強風により倒れた防雪柵 (12月1日)

幸い、村内でその他の大きな被害は聞かれていないし、停電も起きていない。

2018年9月、胆振東部地震でブラックアウトとなり、最大3日間に渡り電気製品が使えず、また、ガソリンの不足、食料品等の確保など不慣れた生活も強いられた。

この様な事が厳冬期に起きたら、確実に避難所に避難する人は、大幅に増加する。

その中で、一番重要な電気設備に関しては、災害本部となる役場庁舎、また、

福祉園、自治センターは準備が進んでいる様だが、避難所に指定されている各自治区の会館や学校などは進んでいないのが現状と思われる。

そこで、避難所に指定されている全ての村内施設の現状と今後の整備方針は。

○石塚村長 答弁
自治センターとふれあいの苑は、自家発電があり、高等養護学校及び第4地区社会教育会館には、可搬式の発電機が設置されている。その他の施設には、可搬式の発電機を災害時に各避難所に準備することとしている。

今後は、各会館施設の防災資機材導入を随時行っていく、災害があった場合、応援協定を締結している事業者等からの支援も受けながら避難所での対応をしていきたい。

また、防災では自助ということがある。行政として住民の命を守るため、

できる限りのことはするが、限界もある。

常日ごろから、各家庭において、災害時での行動の確認や防災備蓄品などの備えをしていただければ、被害もかなり抑えられると思うので、ご協力とご理解を賜りたい。

一般質問
林 和彦 議員

Q デジタル化に向けてどのように取り組むのか

A 国の動向を注視し、優先課題を見極めていく

○林議員 質問
国は地方からデジタルの実装を進め、地方と都市の差を縮め、都市の活力と地方のゆとりの両方を享受できる「デジタル田園都市国家構想」の実現を目指している。

本村も平成21年度から光ファイバー網の整備を始め、公共施設のWiFi通信も実現した。

また、小中学校ではGIGAスクール構想により一人1台の情報端末機を提供するなど、デジタル化が進んでいる。

今後、この構想により地方でのテレワークや、サテライトオフィスの増加が見込まれる。

また、5G通信を整備することによりスマート農業の取り組みが増え、省力化も進むと思われる。

本村でも移住者対策や企業誘致の推進、農業・商業・工業を持続していくためにもデジタル化は必須と考えているが、今後、村としてどのように取り組むのか。

○石塚村長 答弁

国は、デジタルによる地域活性化を進めることによる地方から国全体へボトムアップの成長を実現していくことを表明した。

村では既に光ファイバー網が整備され、公共施設のWiFi、GIGAスクールなど進んでいる。

11月に策定した「新篠津村DX（デジタルトランスフォーメーション）推進計画」でも一部触れているが、事業の取り組みを具現化していくうえで、国もデジタル化の取り組みに対して交付金等を大規模に展開するとしている。

また、国での検討も始まったばかりで、今後は、月1回程度開催し、春までにはビジョンをまとめるとしている「デジタル田園都市国家構想検討会議」の動向を注視し、全国各地で開発実証が行われている第5世代移動通信システム（5G）などの結果を参考にし、本村が取り組むべき優先課題などを見極めていく。



GIGAスクール構想で整備したタブレット端末による授業

一般質問

大塚 裕樹 議員

Q みどりの食料システム 戦略推進交付金の活用は

A 実施要綱等の内容を 確認した上で検討したい

○大塚議員 質問

農林水産省は、持続可能な食料システムの構築に向け、「みどりの食料システム戦略」を策定し、中長期的な観点から、調達、生産、加工・流通、消費の各段階の取組とカーボンニュートラル等の環境負荷軽減のイノベーションを推進し、2050年の目標年度を設定し様々な政策を進めていく。

その中で令和4年度からの新事業として「みどりの食料システム戦略推進交付金」が創設され、地方自治体のビジョン・計画に基づき、スマート農業の産地展開、有機農業の団地化や学校給食等での利用などを進める政策が始まり、全国に100カ所のモデル地域を育成する政策として強く進めて行く予定である。

ぜひ、村としていち早く取り組み、地域の活性化や札幌近郊の有利な地の利を活かした高付加価値農業とカーボンニュートラルに取り組む村としてPRすべきではないか。

○石塚村長 答弁

諸外国においては、環境や健康に関する戦略を策定し、国際ルールに反映させる動きが見られ、今後、SDGsや環境を重視する国内外の動きが加速していくと見込まれる。

本戦略では、2050年までに農林水産業のCO2排出ゼロや化学農薬・化学肥料の使用量の低減、有機農業の取組面積の拡大など14項目の目標に向け段階的に取り組むこととされている。

「みどりの食料システム戦略推進交付金」事業は、地方自治体が策定したビジョン・計画に基づき、有機農業の推進やスマート農業の産地展開などの取組を実践するものである。

本村においても、持続可能な食料システムの構築に向かい、関係者が一体となつてこの戦略に取り組むことが、本村農業の振興・発展につながるものと認識している。

今後、実施要綱等が示さ

れたら内容を確認した上で、実施を検討したい。

Q 担い手育成施策に いち早く支援すべきでは

A 詳細が示されたら内容を 確認した上で検討したい

○大塚議員 質問

農林水産省は、令和4年度の予算より農業への人材の一層の呼び込みと定着を図るため、就農に向けた研修資金、親元就農を含む経営開始時の投資を基本とする経営開始資金等の取組を国と地方が一体となつて支援することとなった。

本村には毎年5名程度の有能な農業後継者がいるので、この厳しい農業の転換期に若い担い手へのチャレ

ンジを後押しする施策にいち早く支援すべきではないか。

○石塚村長 答弁

農林水産省は、令和4年度予算概算要求において、これまでの農業次世代人材投資事業を改め、「新規就農者育成総合対策」を新設した。

全国的に、農業を主な仕事とする基幹的農業従事者が、5年前から約23%減少し、49歳以下の新規就農者も減少傾向であり、特に親元就農が減少しているという現状を踏まえ、対策を講じるものである。

本村には、この5年間で年平均5名の新規就農者はいりますが、農家戸数は減少しており、新規参入を含めた新規就農者の育成・確保を図る必要がある。

本事業は、農業次世代人材投資事業から組み替えられる新規事業であるので、農業次世代人材投資事業と同様に実施していきたいと考えている。

今後、詳細が示されたら内容を確認した上で、検討したい。

Q

クリニック建替えの
村民の意見を聞く場を

A

自治懇談会の中でも
意見や要望を伺いたい

○大塚議員 質問

村長は、2期目の公約として一番に「すこやかクリニックの建替え」を挙げられており、その中で、アンケート調査も行われ、現在各関係機関などの代表者も入った検討委員会も開催されている。

残念ながら私どもは、アンケートの内容も検討委員会の状況も全く把握していないので、非常に不安に思

うところでもあり、また、不安に感じている村民も多いと思うし、逆に関心の高い村民も多いのが現実だと思ふ。

その中で来年3月には、検討委員会からの答申が出され、それを踏まえて村長の最終決断も迫っている。

コロナ禍で2年ほど集いや会合も厳しい状況なので、ぜひ、来年の1月に予定されている自治懇談会では、村民の意見を聞く場をしっかりと設けることが大切ではないか。

○石塚村長 答弁

すこやかクリニックは、昭和47年に「新篠津村国保診療所」として建設され、築49年が経過した。

これまでの主な改修は、平成9年に入院棟の大規模改修、平成21年に、浴室トイレ、屋根などの一部改修を行ってきたが、近年は老朽化に伴う修繕が増えてきている。

また、平成26年の消防法令の改正により、有床診療



築49年経過した「すこやかクリニック新篠津」

所は令和7年6月30日までに、スプリンクラーの設置が義務付けられていることもあり、それまでに整備を図りたいとの考えから、現在、「新クリニック建替検討委員会」を設置して、「新クリニック建替基本構想・基本計画」を策定しているところである。

そこで、村民の意見を反映させるために、第一の方策としては、検討委員会の構成委員10名のうち、8名を村内各団体から、クリニックを利用する村民の代表として検討委員を選出している。



クリニック建替えの意見も出された自治懇談会

その他の2名は、公平で専門的な立場の方も、新クリニック建替検討の協議には必要となるので、医療関係と建築関係のコンサルタントの方を選出している。

第二の方策としては、村民に対して、9月から10月にかけてアンケート調査を実施して、大変多くの方々から、ご意見やご要望をいただいている。

さらに、第三の方策として、村民と直接、対話することができる自治懇談会の中でもご意見やご要望を伺いたいと考えている。

解決！ ふかぼり 深掘 その5

村民の疑問を解決！ ましてや議員の疑問までも解決。

今回の深掘りは 「追跡調査！」 「一般質問のその後」

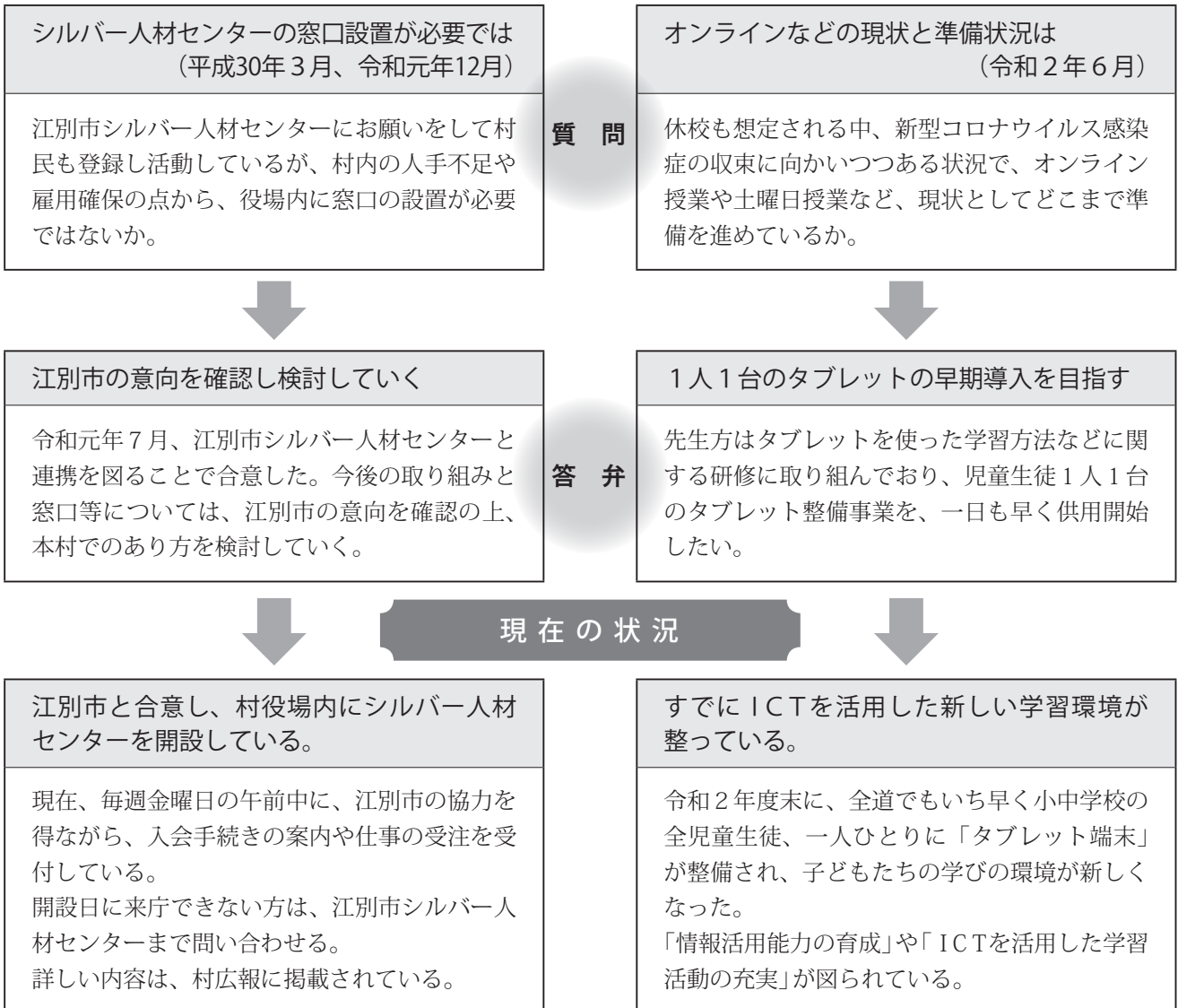
「あの一般質問はその後、どうなっているのかね？」とある議員が言った。

「実態調査が進められているようだけど、村当局への確認が必要だね。」とある議員が答えた。

はたして、これまでに行った一般質問はその後、どうなっているのか、任期中に検証することも大切な仕事だ。

我々議員の任期は、令和元年5月1日から令和5年4月30日まで。

これまで11回開催された定例会において、7議員が66項目の一般質問を行った。「質問」↓「答弁」↓「現在の状況」の主要な2例を示し、要旨64件をまとめ、検証しながら「解決！深掘り」第5回目は、忘れ去られては困るこれまでの「一般質問」について、深掘りしてみた。

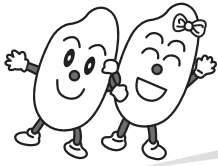


定例会	質問議員	No.	質問要旨	回答要旨	検証	
令和元年第2回 質問日 6月21日 (以下同じ)	大塚議員	①	なり手不足の民生委員の定数の見直し、報酬の支給は	世帯数の推移を見極め検討する	未解決	
		②	公営住宅の入退去時にきめ細やかな対応を	入居者への柔軟な対応と説明を心掛ける	○	
		③	農業用ドローンへ支援などの検討は	関係機関と協議し総合的な支援を検討する	検討中	
	高橋(隆)議員	①	指定管理先の雇用対策と修繕料の増加対策は	指定管理者と十分な協議を進める	検討中	
		南部議員	①	近年、多発する野火への具体的な対策は	村・警察・消防が連携し野火の撲滅を目指す	○
			②	子育て支援法が施行されたあとの村独自施策の対応は	システムの導入を検討し児童養育助成などは継続する	○
③	投票率向上に向けた取り組みは		選挙啓発事業を継続し投票率向上へ努力する	△		
令和元年第3回 9月12日	大塚議員	①	第4墓地周辺の防火対策が必要では	巡回や広報、防災無線等で予防活動を強化する	○	
		②	子どもたちの社会性を育むために集合学習の実施は	有効な指導形態と認識し今後検討していく	△	
		③	認知能力に差が出る就学前教育の実施は	英語に触れる機会など就学前教育を検討する	△	
	林議員	①	空き家等対策計画の策定を早期に	まずは空き家の実態調査を進める	未解決	
	山元議員	①	ふれあい農園の空き区画をパークゴルフ場の新コースに	未利用地で新コースなどの施設整備を検討する	検討中	
	南部議員	①	中学生の海外研修を行う考えは	生徒の英語学習への意欲を高めるため十分検討する	検討中	
②		サ高住など今後の介護施設整備の考えは	計画作成時に調査等を行い必要性を検討する	検討中		
令和元年第4回 12月13日	高橋(隆)議員	①	役場職員等に対する綱紀粛正の徹底は	コミュニケーションを深め注意深く監督する	○	
		②	築30年の保健センターを新築・大規模改修する考えは	耐用年数を超える施設を優先的に計画し検討を進める	未実施	
	大塚議員	①	農業経営収入保険への加入促進が必要では	農業者個々の危機管理の問題である	未実施	
		②	ワカサギ釣りの釣果アップへの対策は	釣客への改善策を優先に河川環境も含め検討	未解決	
		③	長期的な断水が発生した場合の対策は	復旧の状況に応じ各協定先に応援要請を行う	○	
	南部議員	①	シルバー人材センターの窓口設置が必要では	江別市の意向を確認し検討していく	○	
高井議員	①	台風などによる風水害対策は	地域防災計画に基づき対策を行う	○		
令和2年第1回 3月19日	山元議員	①	【コロナ緊急質問】取り組んだ対策と今後の対応は	村民、児童生徒の感染防止対策を全力で実施する	○	
	大塚議員	①	【 // 】独自対応で卒業式の挙行ができないのか	児童生徒の健康と安全を守ることが大優先と考える	○	
	南部議員	①	【 // 】緊急支援対策の村独自の検討は	影響や課題を調査し支援対策を検討する	○	
令和2年第2回 6月26日	林議員	①	バス路線の維持に向けた対策は	必要不可欠な路線のためしっかり維持していく	○	
	大塚議員	①	エゾシカの増加を防ぐ取り組みは	専門家の助言参考に新たな取り組みを行う	○	
		②	避難所の三密を防ぐため新たな対策が必要では	適切な感染症防止対策で避難所対応をしていく	○	
		③	オンライン授業などの現状と準備状況は	1人1台のタブレットの早期導入を目指す	○	
	南部議員	①	備蓄食料・避難所運営の見直しは	避難所生活の環境改善に取り組む	○	
	高橋(隆)議員	①	村有地売却に伴う経緯等の説明を	丁寧な説明をし住民に理解を求めたい	△	
②		コロナ禍のなかで、教育長の声を小中学生にどう届けるか	村ホームページなどで村民に届けたい	△		

定例会	質問議員	No.	質問要旨	回答要旨	検証
令和2年第3回 9月18日	南部議員	①	意見要望が書き込めるサイトの運用は	実現への可能性を検討・研究し探る	△
	林議員	①	石狩川流域自治体と治水・濁水対策の連携は	流域全体で中央要望や情報を共有している	○
	大塚議員	①	満車になることが多いたっぶの湯駐車場の増設は	駐車場のスペース確保を前向きに検討する	○
②		マイナポイント活用に向け周知に力を入れる考えは	活用例を示しながらより一層のPR活動を進める	検討中	
令和2年第4回 12月11日	高橋(隆)議員	①	保育所職員等への慰労金の支給は	他の業種も考慮し支給は考えていない	未実施
		②	たっぶの湯などの今後の改修計画は	相当な経費のため慎重に検討する	検討中
	南部議員	①	定住促進に向けた魅力ある住環境づくりは	他の事例も参考に費用対効果を見極める	検討中
	大塚議員	①	経営継続補助金の継続への要請活動は	実態に即した対応ができるよう検討する	未実施
		②	認定こども園設立の調査研究の考えは	設立に向けた準備の検討・調査を進める	検討中
③		新たな婚活事業の仕組み作りが必要では	新たな支援策等を改めて判断する	検討中	
令和3年第1回 3月19日	林議員	①	自主防災組織の設立に向けた動きは	全自治区が参加し既に組織が設立されている	○
	大塚議員	①	福祉関連施設へのPCR検査の助成検討は	助成金額が高額になり実施するのは難しい	未実施
		②	商工業者存続への地域活性化対策は	商工業者自らの知恵が要望があれば検討する	△
		③	水道管の更新や管理保全などリスク管理は	水道水の安全かつ安定供給を図っていく	△
	南部議員	①	道路などの問題を解決する総合窓口的な部署の設置の検討は	総合窓口がなくともすぐに対応する	△
		②	コロナワクチン接種事務担当者の配置は	組織体制の強化など今後検討していく	○
	高橋(孝)議員	①	ワクチン接種に向けた対応状況は	ワクチン接種の対応は万全の体制で臨む	○
高井議員	①	次期村長選に向け出馬する意思は	村の発展のため再度立候補する	—	
令和3年第2回 6月11日	大塚議員	①	感染リスクを抑えた駅伝大会実現に向けて	大会後援者としては支援・協力を惜しまない	未実施
		②	北海道一の安心安全な学校給食へ	地産地消の給食提供とPRを検討していく	検討中
令和3年第3回 9月16日	山元議員	①	夏場の観光スポット新たな整備を	星座観測所設置の可能性を含め検討する	検討中
	高橋(隆)議員	①	人口減を防ぐための人口維持の施策は	長期的展望にたった有効な対策を考える	△
		②	命の尊さ自覚させる更なる「新篠津教育」を	小中一貫教育の推進と道徳教育の充実に努める	検討中
	林議員	①	空き家等対策計画策定で適切な維持管理の指導を	具体的調査を踏まえ各対策に取り組んでいく	未解決
	南部議員	①	ふれあい農園を含めたふれあい公園の再整備は	農園利用者の意向を聞きながら検討していく	検討中
		②	農産物の干ばつ・猛暑の被害対応について	北海道の動向を注視し状況に応じ対応していく	検討中
大塚議員	①	新たな農水省支援事業を積極的に活用しては	本事業に一経営体がエネルギーを注ぐ必要性は低い	△	
	②	DXを推進するための担当部署設置は	人材を確保しながらデジタル化を進める	○	
	③	役場庁舎のエアコン導入早期の整備が必要では	エアコン導入の重要性和脱炭素化を検討する	検討中	

一般（緊急）質問を行う目的と効果は、ただ単に執行機関の所信を…にし、それに対する政治責任を明確にさせたり、結果として現行のただしたり、事実関係を明らかにするだけにとどまるものでは決して…政策を変更、是正させ、あるいは新規の政策を採用させるなどの目的でない。所信をただすことによって、執行機関の政治姿勢を明らか…的と効果があると考え。

きっと、村民の疑問はまだまだあるはず…。だから、「解決！深掘」に努力します。



議会の動き



行政常任委員会村内行政視察

令和3年10月28日、行政常任委員会（山元委員長）で村内一円の行政視察を実施し、橋梁長寿命化篠津運河北6号橋補修工事（12月20日完成）や南団地8・9号棟建築工事（12月15日完成）など6カ所を視察しました。



南団地8・9号棟建築工事現場



橋梁長寿命化篠津運河北6号橋補修工事現場

令和4年度過疎対策関係政府予算に関する要望などを決議

令和3年11月14日～16日の3日間、藤永議長が全国過疎地域連盟第52回定期総会に参加するため、村長と共に上京しました。

過疎地域に対する総合的かつ積極的な支援を行い、住民の暮らしを支えていく政策を確立することが重要とし「令和4年度過疎対策関係政府予算・施策に関する決議」などが行われました。



メルパルクホール東京で開催された定期大会 11/15

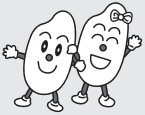
新型コロナウイルス感染症対策に関する特別要望などを採択

令和3年11月25日、26日の両日、藤永議長が第65回町村議会議長全国大会に参加するため、上京しました。

緊急かつ重要な課題として解決を図る必要がある案件とし「地方議会の位置付けを明確に規定する地方自治法の改正等の早期実現を求める特別決議」などが行われました。



明治記念館で開催された全国大会 11/26



令和3年議会開催状況

区分	開催月日	会期	委員会・議案調査	本会議日数	傍聴者数
第1回定例会	3月10日～19日	10日	8日	2日	3人
第1回臨時会	4月12日	1日	—	1日	0人
第2回臨時会	5月28日	1日	—	1日	0人
第2回定例会	6月7日～11日	5日	3日	2日	2人
第3回臨時会	7月28日	1日	—	1日	1人
第3回定例会	9月7日～16日	10日	8日	2日	0人
第4回臨時会	11月24日	1日	—	1日	0人
第4回定例会	12月14日～22日	9日	7日	2日	6人

令和3年付託案件・議決結果

付託案件		定例会	臨時会	合計	議決結果		定例会	臨時会	合計
村長提出	条例	9件	1件	10件	村長提出	原案可決	35件	7件	42件
	予算	23件	4件	27件		同意	4件	2件	6件
	決算	5件	0件	5件		認定	5件	0件	5件
	契約	0件	1件	1件		適任(答申)	2件	0件	2件
	人事案件	6件	3件	9件		合計	46件	9件	55件
	その他	3件	0件	3件		委員会議員提出	原案可決	6件	0件
	合計	46件	9件	55件	否決		0件	0件	0件
委員会議員提出	意見書	6件	0件	6件	合計	6件	0件	6件	
	その他	0件	0件	0件	請願情	採択	1件	0件	1件
合計	6件	0件	6件	一部採択		0件	0件	0件	
請願情	請願	1件	0件	1件		不採択	1件	0件	1件
	陳情	3件	0件	3件		趣旨採択	2件	0件	2件
	合計	4件	0件	4件		合計	4件	0件	4件

令和4年 第1回定例会 のお知らせ 3月9日(水) ～3月18日(金) 予定



どなたでも傍聴できます。
皆様のご来庁をお待ちしております。

編集後記

今年、パンデミックから3年目に入り、私達の生活もコロナ禍でどう前向きに生きて行くか考えるようになってきています。

感染リスクを考えて自然と手洗い、マスク、消毒、デイスタンスを取るようになって、私も風邪や熱を出すことが全く無くなり感心するばかりです。

そんな中、世界的な消費需要の高まりで色々なものが高騰し私達の生活が脅かされています。

海外の安価な燃油や原料に助けられ、多くの利益を得てきた輸入大国日本が、今まさにピンチな状況です。世界のリーダー達は、国内生産に舵を取り、特に食糧備蓄にも力を入れていきます。

日本もエネルギーや半導体、食糧など本気で国内生産に力を入れなければ国民の不安は拭えません。不安がある時は消費拡大は望めないのが不安を解消することが景気回復の鍵だと思います。

村の将来も不安ばかりでは良い村づくりはできません。ピンチをチャンスに変える政策を提案していくために、どうか村民皆様方のご意見とご指導をお願いします。

(大塚 記)